

9月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

# 108,607円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

|                    |          |
|--------------------|----------|
| 印刷代(月刊武松印刷代)       | 26,523円  |
| 交通費(駐車場、燃料代)       | 11,331円  |
| 会場費                | 700円     |
| 通信費(携帯・折込代)        | 70,053円  |
| 支出計 19/9/1～19/9/30 | 108,607円 |

## 市政を考える 月刊武松

発行日  
19/10/1

### 第184号

22000部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

## 災害に備える

### 令和元年台風15号被害から減災を考える

台風15号による、千葉県等の被害状況より、改めて事前の準備の必要性を痛感します。

台風15号の予想進路は、当初小田原に近い所でしたが、たまたま中心の経路が40kmほど東にずれたため、大きな被害を受けずに済みました。しかし進行方向右側が風雨が強いとされる台風の影響は、進路右側の千葉県に大きな被害をもたらしました。

#### ■台風15号の特徴

- 9日03時前に三浦半島を通過。中心は東京湾に抜けて北東に進み、9日05時には千葉県千葉市付近に上陸
- 台風が「非常に強い」勢力を保ったまま関東の至近距離まで接近した。千葉市付近に再上陸するときの勢力は中心気圧960hPa・最大風速40m/sの「強い」勢力
- 上陸時の勢力は関東としては過去最強クラス

#### ■千葉県の特徴

- 高い山がなく最高峰の愛宕山(南房総市)でも408.2mであり、遮蔽する山がないため風の影響を受けやすい地形
- 停電すると水道も止まる自治体が多い。
- 未明から明け方の接近と大規模停電により、自治体自体が被害を把握できていなかった
- 被害情報が発信されていない自治体ほど被害が大きかった。
- 停電復旧時期の見込みの間違い  
当初発表の復旧見込みで対応をとったため、電源車の手配が遅れる  
病院や介護施設で生命維持装置等の運転に支障
- 風による屋根への被害が多く、その後の一時的な雨対策に大量のブルーシート等が必要
- 屋根・大工等職人の不足により、復旧に長期間

今回の台風による被害が、風による送電網を含む大規模停電と屋根等建物被害から、これまでの災害

想定や防災対策を見直す必要が出てきました。自公の観点から、屋根破損、停電7日、断水7日と想定し、新たに考慮すべき点をまとめました。

#### ■家庭

- 安全な場所に避難
- 台風進路・満潮時刻などの確な情報の把握
- ブルーシートと固定用資材の備蓄
- 水の備蓄 PETボトル、襲来前にポリタンクや風呂に貯めておく 一人当たり3リットル/日とすると21リットル/人必要
- 電源 電池、発電機(ガソリン、LPG)、ハイブリッド車、電気自動車
- カセットコンロ
- エネルギー分散(電気+ガス+灯油等)または、ZEH(高断熱+ソーラー+蓄電池)
- 樹木等適正管理

#### ■地域

- 襲来事前の声掛け(減災対策、事前避難手伝い)
- 被災後片付け(近隣道路・地域の片づけ)
- 助け合い(生活、警備)
- 広域避難所(運営・協力)

#### ■市

- 被害想定との再検討
- 自家発電設備稼働可能時間の延長対策
- 初動体制の強化  
未情報地域への対応、災害対策本部設置(停電) 出動要請(県・自衛隊・電源車)
- 福祉避難所設置(停電時対応)

以上、私が経験を基に想定したものを列記しました。偏りや漏れもあると思いますが、家庭でできる事はとても多いと思います。

これを基に皆さん自身で考えていただき、できる事を実行して頂くことが大切です。

## 9月28日は小田原大海嘯の日

### ■激浪は市街地まで侵入

1902年9月28日に小田原を中心とする吉浜から大磯に至る県西海岸地方を襲った台風に伴う高潮は、大被害をもたらした。28日の午前11時頃急に大波となって陸地に押し寄せ、防波堤を越え市街地まで侵入した。

### ■死者不明60人

- ・死者 56人 ・負傷者 343人 ・行方不明 4人
- ・家屋全半壊 470戸 ・家屋流出 552戸
- ・家屋浸水 1350戸

### ■親木橋が500m以上流された

激浪は森戸川をさかのぼり、御殿場線線路に沿った数10万㎡の田畑に氾濫し、一面湖水のようになった。

### ■小田原町の被害の様子

- ・激浪は西海子通りまで達し、海岸から500mも離れたところまで達したところもあった。
- ・山王橋脇の宗福寺本堂は、200mほど流された。
- ・現在の町田小学校付近で水深1m程あった。
- ・浜町4丁目国道1号線付近は、床上0.6～1mの浸水で酒匂川の様であった。

**高潮は予測可能です。命を守る行動を！**



図1 1902年9月28日被災後の国道1号線親木橋付近の様子 線路は小田原電気鉄道

## 武松忠議会報告会

10月の武松忠議会報告会は  
都合により中止いたします。



公式HP

月刊武松ハックハ-他



twitter

防災・インフルエンザ情報



facebook



Instagram

建物・花・風景



▲北條五代祭りにて